

男女共同参画ニュースレター

このたび、男女共同参画推進委員会では、ニュースレターを発行することになりました。今後、委員会の取り組みなどを紹介していきます。

本学の男女共同参画推進委員会は2010年に設置された後、以下の基本理念をもとに活動を進めています。

男女共同参画社会とは、男女ともにその人権が尊重され、社会の対等な構成員として責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。京都教育大学は、教育者の養成やそのために必要な研究の推進を通して、男女共同参画社会の推進に貢献します。また、そのために、大学自体が男女共同参画の理念に基づいた大学であることをめざします。

この基本理念にもとづき、基本方針として、(1) 環境整備、(2) 意識啓発、(3) 教育・研究、(4) 地域連携・地域貢献、の4つを掲げ、具体的な取り組みを行っています。

リーフレット「はじめよう！男女共同参画」について



上記の基本理念・基本方針にもとづき、男女共同参画推進委員会では、2011年度にリーフレットを作成しました。

リーフレットには、理念・方針の詳細のほか、以下の内容も盛り込まれています。

- ・本学の制度（育児・介護等を支援する制度一覧）
- ・先輩達からのメッセージ
- ・大学や附属学校園での授業紹介
- ・関連ウェブサイトや書籍の紹介

ぜひご覧ください。なお、リーフレットは、下記のホームページアドレスからも閲覧可能です。

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/>

研修会の報告について

男女共同参画推進委員会では、これまでに研修会を 2 回実施しました。今回のニュースレターでは、第 2 回の研修会の内容について紹介します。2012 年 2 月 20 日に、京都教育大学附属京都小中学校で開催したものです。

テーマ：男性の育児参加と男女共同参画

講師：大谷 学 氏（京都府教育庁管理部総務企画課長）



研修会では、男性で育児休業

を取得された経験をお持ちの大谷氏から、「男性の育児参加と男女共同参画」についてお話をいただきました。

大谷氏によれば、「イクメン」という言葉が「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男のこと」を「コンセプト」に使われ始めるようになっていきます。そのなかで、男性

の育児参加への「希望と現実」について、育児休業の取得率や具体的な事例を踏まえながら、ご紹介いただきました。

実際の育児参加によって、そこでの経験が「仕事に活かせる」こと、また「(それまで持っていた自身の) 視点が変わる」ことの魅力なども指摘されました。

その後の質疑応答では、男性が育児休業を取得することをめぐる課題などについての質問が出されました。

今後の男女共同参画のあり方を考える上で具体的な示唆に富むお話をいただきました。



授乳室の設置について

このたび、藤森キャンパスの学生会館内に授乳室が設置されることになりました。ぜひ、ご活用ください。案内地図を正門（門衛所）に置く予定です。

男女共同参画推進委員会では、今後も研修会などを行います。ご参加・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

京都教育大学男女共同参画推進委員会（担当：総務課）

【参考】 <http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/>